

CVT

副変成器付コンデンサ形計器用変圧器

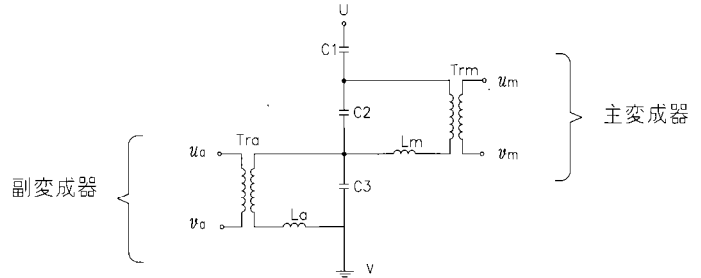


特長

継電器誤動作防止回路を内蔵

副変成器付CVT（または親子式CVT）は、コンデンサの分圧回路（C2、C3）に変成器をそれぞれ接続して互いに独立した2組の二次電圧を取り出せるようにしたコンデンサ形計器用変圧器です。

基本回路は下図のようになります。



主変成器：CVTの主負担が接続される側の変成装置です。

副変成器：CVTの二次回路の短絡もしくは断線などの事故発生時に二次差電圧を取り出す目的で付加した変成装置です。

二次回路の一方で短絡もしくは断線などの事故が発生したとき、2組の変成器の二次差電圧により電圧差動継電器を動作させて系統事故と区別し、しゃ断器のトリップ回路をロックすることができるので、計器用変圧器二次側の短絡・断線による系統の誤しゃ断を防止できます。

（電圧差動継電器はCVTに付属していません。）

定格

標準定格一覧表

形名	電圧				負担		確度階級		
	回路	一次	二次 (主・副共)	主変成器 三次	二次 (主・副)	主変成器 三次	主変成器 二次	副変成器 二次	主変成器 三次
PDB-06F	66kV	66/ 3kV	110/ 3V	110/3V	主200VA 副20VA または 主500VA 副50VA	200VA または 500VA (主二次と 同一値)	1T	5P	3G
PDB-07F	77kV	77/ 3kV							
PDB-10F	110kV	110/ 3kV							
PDB-14F	154kV	154/ 3kV		-	-	-		3P	-
PDB-17F	187kV	187/ 3kV							
PDB-20F	220kV	220/ 3kV							
PDB-25F	275kV	275/ 3kV							

構造 構造・寸法・重量一覧（二次負担 200VA、非直結構造の場合）

一次電圧	塩分付着密度 (mg/cm ²)	使用碍管 本数	高さH(mm)	質量(kg)
66kV	0.005,0.01	1	2,085	980
	0.03,0.06,0.12		2,275	1,025
	0.35		2,595	1,070
77kV	0.005,0.01	1	2,085	980
	0.03,0.06		2,275	1,025
	0.12		2,595	1,070
	0.35		2,695	1,085
110kV	0.005,0.01	1	2,275	1,025
	0.03		2,595	1,070
	0.06		2,695	1,085
	0.12		2,995	1,120
	0.35		3,285	1,160
154kV	0.005,0.01	1	2,595	1,070
	0.03,0.06		3,285	1,160
	0.12	2	4,150	1,340
	0.35		4,605	1,415
187kV	0.005,0.01	1	2,595	1,070
	0.03,0.06		3,285	1,160
	0.12	2	4,150	1,340
	0.35		4,505	1,395
220kV	0.005,0.01	1	2,995	1,120
	0.03		3,285	1,160
	0.06	2	4,150	1,340
	0.12		4,505	1,395
275kV	0.005,0.01	2	3,830	1,295
	0.03		4,150	1,340
	0.06		4,605	1,415

